



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	4,933	△6.8	△262	—	△151	—	△207	—
30年3月期第1四半期	5,293	1.7	△14	—	105	—	71	—

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 △324百万円 (—%) 30年3月期第1四半期 491百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△12.96	—
30年3月期第1四半期	4.42	—

(注)当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
31年3月期第1四半期	57,178		48,120		83.9	
30年3月期	57,842		48,926		84.4	

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 47,996百万円 30年3月期 48,798百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭		円 銭		円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—				
31年3月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	2.2	450	3.5	500	△11.1	300	△21.5	18.71
通期	24,500	2.2	900	6.0	1,000	20.1	650	12.2	40.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	17,319,568 株	30年3月期	17,319,568 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	1,283,765 株	30年3月期	1,283,252 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	16,035,934 株	30年3月期1Q	16,242,266 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部企業における収益や雇用環境の改善が継続するなど、全体として緩やかな回復基調となりました。その一方で、米国政権の政策運営や東アジア地域における地政学リスクなどにより世界経済の不確実性は高まっており、先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、インバウンド需要による消費の下支えが見られ、個人消費も雇用・所得環境の改善から持ち直しの動きがみられますが、先行き不透明感による消費者の節約志向・生活防衛意識は依然として根強く、企業間競争が一段と激化するなど、厳しい環境にあります。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』をスタートさせました。『ATSUGI VISION 2020』では、「更なる利益率の向上」に重点を置き、これまで培ってきた当社の強みを維持しつつ、利益を創出していくための新たな施策によって次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、持続的な成長を可能とする強固な事業基盤の構築を進めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 4,933 百万円(前年同四半期比 6.8%減)、営業損失は 262 百万円(前年同四半期は 14 百万円の損失)、経常損失は 151 百万円(前年同四半期は 105 百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は 207 百万円(前年同四半期は 71 百万円の利益)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

## 〔繊維事業〕

レッグウエア分野はソックスが順調に推移したものの、プレーンストッキングやショートストッキング、ファッション商品の伸び悩みなど、全般的には厳しく、同分野の売上高は 3,987 百万円(前年同四半期比 7.1%減)となりました。

インナーウエア分野はスポーツインナー関連が順調に推移したほか、主力のショーツも好調に推移しましたが、ニューインナーの伸び悩みなどにより、同分野の売上高は 644 百万円(前年同四半期比 4.9%減)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は 4,632 百万円(前年同四半期比 6.8%減)、営業損失は 386 百万円(前年同四半期は 160 百万円の損失)となりました。

## 〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は 146 百万円(前年同四半期比 10.5%減)、営業利益は 102 百万円(前年同四半期比 16.7%減)となりました。

## 〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の販売は堅調に推移しました。一方で、太陽光発電による売電は天候の影響などにより発電量が減少いたしました。これらの結果、当事業の売上高は 154 百万円(前年同四半期比 2.3%減)、営業利益は 21 百万円(前年同四半期比 8.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は 57,178 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 663 百万円減少いたしました。これは主に、売上債権の減少 1,384 百万円、投資有価証券の減少 352 百万円およびたな卸資産の増加 1,128 百万円等によるものであります。

負債の部は 9,058 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 142 百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務の増加 643 百万円、通貨オプションの減少 327 百万円および未払法人税等の減少 94 百万円等によるものであります。

純資産の部は 48,120 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 806 百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失 207 百万円の計上や、前期決算に係る配当金 481 百万円による減少およびその他の包括利益累計額の減少 112 百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は 83.9%(前連結会計年度末は 84.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 31 年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成 30 年5月 11 日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,119	9,100
受取手形及び売掛金	4,516	3,132
商品及び製品	4,730	5,533
仕掛品	1,795	2,081
原材料及び貯蔵品	530	570
その他	327	461
貸倒引当金	△11	△65
流動資産合計	21,008	20,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,594	5,621
機械装置及び運搬具（純額）	3,381	3,258
土地	16,307	16,289
建設仮勘定	44	57
その他（純額）	152	150
有形固定資産合計	25,480	25,377
無形固定資産		
	289	283
投資その他の資産		
投資有価証券	10,695	10,342
繰延税金資産	51	50
その他	316	310
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,063	10,703
固定資産合計	36,833	36,364
資産合計	57,842	57,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,622	3,265
未払法人税等	154	60
賞与引当金	123	40
その他	1,495	1,206
流動負債合計	4,394	4,572
固定負債		
繰延税金負債	1,006	990
再評価に係る繰延税金負債	1,850	1,850
退職給付に係る負債	1,343	1,326
その他	320	317
固定負債合計	4,520	4,485
負債合計	8,915	9,058
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,345	9,345
利益剰余金	5,250	4,561
自己株式	△1,457	△1,458
株主資本合計	44,844	44,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,898	3,629
繰延ヘッジ損益	△324	△97
土地再評価差額金	△406	△406
為替換算調整勘定	786	715
その他の包括利益累計額合計	3,954	3,841
非支配株主持分	128	123
純資産合計	48,926	48,120
負債純資産合計	57,842	57,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,293	4,933
売上原価	3,471	3,382
売上総利益	1,821	1,551
販売費及び一般管理費	1,835	1,814
営業損失(△)	△14	△262
営業外収益		
受取利息及び配当金	109	120
持分法による投資利益	—	1
為替差益	18	—
その他	17	13
営業外収益合計	144	134
営業外費用		
持分法による投資損失	6	—
租税公課	6	7
為替差損	—	11
その他	11	4
営業外費用合計	24	23
経常利益又は経常損失(△)	105	△151
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	1	1
貸倒引当金繰入額	—	53
特別損失合計	1	55
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	104	△206
法人税、住民税及び事業税	47	24
法人税等調整額	△14	△20
法人税等合計	32	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71	△210
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	71	△207



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	71	△210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	319	△268
繰延ヘッジ損益	45	227
為替換算調整勘定	51	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△1
その他の包括利益合計	419	△114
四半期包括利益	491	△324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490	△320
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

〔『税効果会計に係る会計基準』の一部改正〕等の適用)

〔『税効果会計に係る会計基準』の一部改正〕(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,971	163	5,135	157	5,293	-	5,293
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	-	0	△0	-
計	4,972	163	5,135	157	5,293	△0	5,293
セグメント利益又は損失(△)	△ 160	123	△ 37	23	△ 14	-	△ 14

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	4,632	146	4,779	154	4,933	-	4,933
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	△1	-
計	4,634	146	4,780	154	4,934	△ 1	4,933
セグメント利益又は損失(△)	△ 386	102	△ 284	21	△ 262	-	△ 262

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。